

『鳥取県中部地域公共交通総合連携計画』(案) に関するパブリックコメントについて【実施結果】

鳥取県中部地域の1市4町(倉吉市、琴浦町、北栄町、湯梨浜町、三朝町)では、住民・行政・公共交通事業者等で構成する「鳥取県中部地域公共交通協議会」を設置して、地域における公共交通の問題点・課題を幅広く把握した上で、地域公共交通の活性化及び再生を総合的かつ一体的に推進するための「鳥取県中部地域公共交通総合連携計画(案)」を作成しました。

そして、さらに圏域住民の皆さんからのご意見をいただくため、以下の方法でパブリックコメントを実施したところです。

■ 周知方法

各市町のホームページ掲載、倉吉市:2 月市報配布時に班回覧の実施、湯梨浜町:各支所での意見箱の設置

■ 意見募集期間

平成 23 年 1 月 24 日(月)から平成 23 年 2 月 10 日(木)まで

■ 問い合わせ先

鳥取県中部地域公共交通協議会 事務局:倉吉市総合政策室

募集の結果

4人の方からご意見が寄せられ、平成23年3月3日に開催しました「第5回鳥取県中部地域公共交通協議会」において、ご意見についての協議が行われましたので、その内容について、次のとおりご報告させていただきます。御協力ありがとうございました。

No.	意見等概要	計画上での考え方
1	倉吉市福守町は 20 年前に比べ、人口が急増している。そのため、市道西倉吉町福守町線の交通量も増加しており、高齢者、子供にとっても危険で、不便な状況である。住民にとって住みよい環境、CO2 削減の観点からも 1 日 4 便のバスを運行してほしい。	現在路線バスが運行されていない地域への対応につきましては、今後計画を実施する中でバス事業者等と検討していきます。また、 <u>地域主体による自主的な取り組み</u> ※を視野に入れながら検討していきます。 ※(例)NPO 等による過疎地有償運送事業
2	倉吉市小田には以前バスが運行されていたが、現在は運行されていない。再度、バス停を設置しバスを運行してほしい。 ① 高齢者世帯が増え、タクシー代の負担も家計に大きく影響する。 ② 倉吉駅北口にバス停を設置し、下北条駅前から山陰線沿いに倉吉駅北口まで運行し、そこから竹田橋経由で市役所、西倉吉、三朝の各方面行きを運行してほしい。(倉吉駅北口での乗換えがないほうがよい。)	鉄道と競合する区間での新規のバス運行は、考えておりません。また、計画では幹線・支線の役割分担により効率的に運行するよう考えており、乗換えのない新規路線運行は考えておりません。しかしバス利用が困難な地域の対応については検討する必要がありますので、 <u>地域主体による自主的な取り組み</u> ※を視野に入れながら検討していきます。 ※(例)NPO 等による過疎地有償運送事業

3	<p>県東部・中部・西部の各地域境界の交通連携についてはどうでしょうか。</p>	<p>各地域境界までの運行については、これまで西部は赤碓線において下市入口まで、東部は橋津線において青谷駅まで運行していた経過があります。しかしながら、利用者がほとんどなく、路線を縮小した経過もあり、今回の計画では中部近隣町への運行は考えておりません。</p>
4	<p>公共交通のあり方を議論するうえで、福祉有償運送や介護タクシーはもちろんのこと、社会福祉協議会や障害者施設等が独自で行っている送迎事業なども含めた障がい者の移送についての現状分析・将来ビジョンに触れられていない。</p>	<p>今回の計画は、公共交通（特に路線バス）を活性化させるための計画であり、障がいのある方も含めた利用者にとって利用しやすい環境整備（低床車両の導入、結節点のバリアフリー化）も実施するよう計画しております。ご意見にある移送サービスにつきましては、公共交通としての位置付けではないため、現状分析等を記載しておりませんが、いただいたご意見は、各市町の福祉担当課にお伝えし、移送サービスの充実について検討を依頼します。</p>